

週間感染症情報

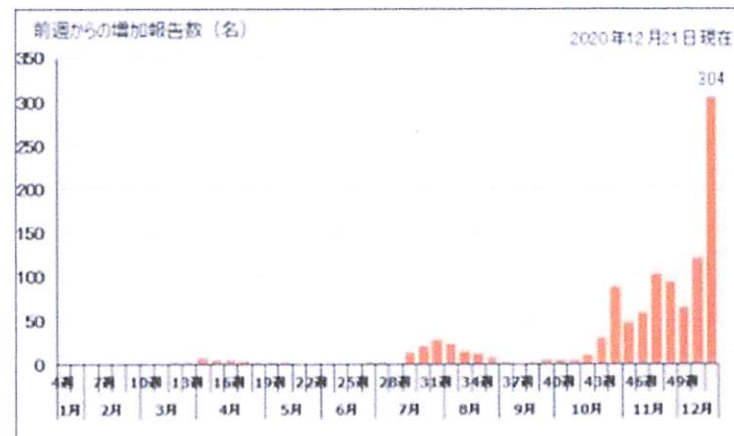
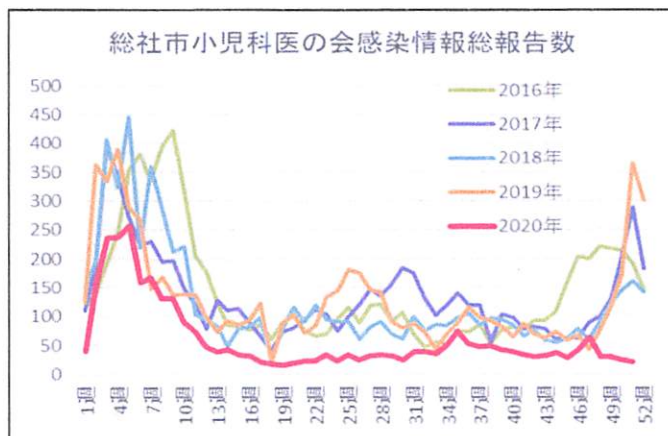
2020年51週 2020年12月14日より2020年12月20日まで

麻疹	
風疹	
水痘(みずぼうそう)	1
ムンプス(おたふくかぜ)	
百日咳	
溶連菌感染症	
手足口病	2
ヘルパンギーナ	
伝染性紅斑	
感染性胃腸炎	10
ロタウイルス(再掲)	
便アデノウイルス(再掲)	
突発性発疹	5
伝染性膿痂疹(とびひ)	1
ヘルペス性口内炎	
アデノウイルス感染症	1
RSウイルス感染症	
マイコプラズマ感染症	
ヒトメタニューモウイルス	
インフルエンザ(臨床診断含む)	
インフルエンザA	
インフルエンザB	

遅くなりましたが51週の報告です。今年最後の報告です。12月27日は当番医でした。小児科12人(発熱6人)、内科7人計19人で、思ったより少なかったです。例年だと、感染性胃腸炎やインフルエンザなどが流行して忙しいのですが、感染症は少ないです。左下の小児科医の会の報告数グラフのように、51週の報告数は20例と非常に少なかったです。ちなみに、昨年は274例の報告があり、193例がインフルエンザでした(吉備医師会員の報告は283例)。インフルエンザは小児を介して地域に流行が拡大していきます。コロナでは、小児のクラスターの報告は少なく症状も軽度で、多くが家庭内感染です。家庭内にウイルスを持ち込まないことが一番大切です。

岡山県内では、大きなクラスターが発生して、左下のグラフのように51週は304例の報告がありました。高齢者の感染者が増えて病院では病床がひっ迫しており、通常の診療が困難となる状況となっています。大きなけが・脳梗塞・心筋梗塞など緊急を要する疾患で、通常だと助かる命を助けることができなくなる事態が起こるかもしれません。

コロナは発症する前から発症始めが感染力が強いことがわかっています。感染者の45%が無症状者からの感染です。県内でも、症状がなくてもウイルスを持っていると考えて行動することが大切です。この年末年始は親戚や友人たちと集まっての会食・カラオケ・飲酒は我慢して下さい。感染者を増やさないことが大切です。



(感染情報については当院のホームページでもご覧になれます。 <http://miyakenaika.com>)